

業 科目名	地理歴史科指導法Ⅱ		開講年次	2	単位数	2
担当形態	単独	教員の免許状取得のための選択必修科目（中一種免社会）、必修科目（高一種免地歴）				
科目区分	教科及び教科の指導法に関する科目（中一種免社会）、（高一種免地歴）					
各科目に含めることが必要な事項	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）					
サブタイトル	中等教育における地理・歴史教育の実践的指導法			担当者	田中 秀典	
授業概要	<p>【概要】 基礎的な学習理論を理解し、具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身に付ける。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 子どもの認識・思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 2) 地理歴史科の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。 3) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。 4) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。 5) 地理歴史科における実践研究の動向を知り、授業設計の向上に取り組むことができる。 					
履修条件	中学校・高等学校社会科教師を目指す強い意志を持っていること。					
教科書・ 参考書	<p>【教科書】 高等学校学習指導要領解説地理歴史編及び中学校社会科・高等学校地歴科教科書・プリント（資料・学習指導案事例など）」は適宜配布</p> <p>【参考書】 二谷貞夫・小林汎他「中等社会科ハンドブック」（第2版）（学文社、2014年）</p>					
授業回数	授業内容					
1	<p>ガイダンス：アンケートの実施・本講義の進め方・内容・評価方法・注意点など</p> <p>予習：シラバスをよく読んで置くこと 復習：指示事項を再確認し、整理する。</p>					
2	<p>地理歴史科授業づくりの課題・授業への取り組み方・授業設計などについて</p> <p>予習：資料「社会科授業づくりの課題」を読み質問をまとめる。復習：社会科授業づくりの課題などについての内容を整理する。</p>					
3	<p>教科書とは：教科書とは、教科書を教える・教科書で教えるとは。</p> <p>予習：地理・歴史教科書を読み質問をまとめる。復習：教科書についての内容を整理する。</p>					
4	<p>教材研究の実践：実物教材とは何か、地理・歴史科における実物教材の取り入れ方について</p> <p>予習：資料「教材研究とは」を読み質問をまとめる。復習：実物教材等についての内容を整理する。</p>					
5	<p>教材作成：新聞・雑誌・実物及びICTの活用について。</p> <p>予習：各種教材・機材を用意する。復習：教材作成の作業を振り返り、内容を整理する。</p>					
6	<p>地理授業の実践例：時差・地図学習をもとに実践例を学ぶ</p> <p>予習：資料「時差」「地図」の実践例を読み質問をまとめる。復習：時差・地図学習についての内容を整理する。</p>					
7	<p>歴史授業の実践例：「弥生時代」の実践例に学ぶ。</p> <p>予習：上記部分の教科書を読み質問をまとめる。復習：「市民革命と産業革命」などの実践例を検証する。</p>					
8	<p>学習指導案の作成：同一教材（単元）・各人の教材（単元）での指導案を作成し、提出する。</p> <p>予習：前期資料「学習指導案とは何か」を読み質問をまとめる。復習：作成した「学習指導案」についての内容を整理する。</p>					
9	<p>模擬授業の準備：選択した単元の「学習指導案」「教材・資料・ワークシートなど」を作成、授業の準備をする。</p> <p>予習：教科書・教材等の準備。復習：模擬授業の内容を整理する。</p>					
10	<p>模擬授業（1）：模擬授業の実践、特に学習指導案・教材の作成について。検証カードの提出。</p> <p>予習：学習指導案など授業資料を読み、質問をまとめる。復習：模擬授業を検証し、内容を整理する。</p>					
11	<p>模擬授業（2）：模擬授業の実践、特に授業の導入・展開・まとめについて。検証カードの提出。</p> <p>予習：学習指導案など授業資料を読み、質問をまとめる。復習：模擬授業を検証し、内容を整理する。</p>					
12	<p>模擬授業（3）：模擬授業の実践、特に教材の活用について。検証カードの提出。</p> <p>予習：学習指導案など授業資料を読み、質問をまとめる。復習：模擬授業を検証し、内容を整理する。</p>					
13	<p>模擬授業（4）：模擬授業の実践、特に生徒への発問・板書・声量などについて。検証カードの提出。</p> <p>予習：学習指導案など授業資料を読み、質問をまとめる。復習：模擬授業を検証し、内容を整理する。</p>					
14	<p>模擬授業（5）：模擬授業の実践、特に授業の構成・発展的学習の展開など。検証カードの提出。</p> <p>予習：学習指導案など授業資料を読み、質問をまとめる。復習：模擬授業を検証し、内容を整理する。</p>					
15	<p>授業検証：授業分析と相互検証。個々の模擬授業の総括。</p> <p>予習：後期学習内容及び模擬授業のまとめ。復習：後期学習の内容を整理する。</p>					
評価方法	模擬授業（学習指導案・教材・授業実践など）50%、課題・レポート30%、授業への参加態度（検証カードの提出など）20%					
評価基準	上記授業単元の内容について、これをよく理解し、適切に理解できたものについては「S」または「A」を与える。単元の内容についての理解や表現に不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。評価不能な場合、「F」とする。					
その他	特になし					